

適用規格				
定格	使用温度範囲	-55 °C ~ +85 °C (注1)	保存温度範囲	-10 °C ~ +60 °C (注2)
	電圧	AC 100 V	保存湿度範囲	40% ~ 70% (注2)
	電流	0.5 A(信号部) (注3) 3.0A(MF端子部)	使用湿度範囲	相対湿度85%以下 (但し結露の無いこと)

性能

項目	試験方法	規格	QT	AT																								
構造	外觀, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。																									
	表示	目視にて確認する。	○	○																								
電気的 性能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。	信号部 : 90 mΩ以下 MF端子部 : 30 mΩ以下																									
	絶縁抵抗	DC 250 Vで測定する。	1000 MΩ以上																									
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。																									
機械的 性能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>40芯</td> <td>60芯</td> <td>80芯</td> </tr> <tr> <td>差込力(N以下)</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>引抜力(N以上)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>100芯</td> <td>120芯</td> <td>140芯</td> </tr> <tr> <td>差込力(N以下)</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>引抜力(N以上)</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> </table>			40芯	60芯	80芯	差込力(N以下)	30	40	50	引抜力(N以上)	3	4	5		100芯	120芯	140芯	差込力(N以下)	60	70	80	引抜力(N以上)	6	7	8
		40芯	60芯	80芯																								
	差込力(N以下)	30	40	50																								
	引抜力(N以上)	3	4	5																								
		100芯	120芯	140芯																								
差込力(N以下)	60	70	80																									
引抜力(N以上)	6	7	8																									
繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 信号部 100 mΩ以下 MF端子部 40 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。																										
耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。																										
耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。																											
環境的 性能	定常状態の耐湿性	温度 40±2°C、湿度 90~95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗: 信号部 100 mΩ以下 MF端子部 40 mΩ以下																									
	温度サイクル	温度 -55 → +85 °C 時間 30 → 30 分を 5 サイクル試験する。 (槽の移し変え時間は2~3分)	② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。																									
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2 °C 75±5%RH 96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 60068)	はなはだしい腐食がないこと。																									
	はんだ耐熱性	リフローの場合: ピーク温度 MAX260°C 220 °C以上 60秒以内	外觀の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。																									
		はんだごての場合: こて温度 360°C はんだ付け時間 5 秒以内																										
はんだ付け性	はんだ温度 240±3 °C, 浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。																										

△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
②	DIS-F-0000091	TH. SANO	HT. YAMAGUCHI	15.02.16

備考	承認	HS. OKAWA	10.06.03
	検図	KI. HIROKAWA	10.06.03
	担当	KT. DOI	10.06.03
	製図	KT. DOI	10.06.03

注1. 通電時の温度上昇を含みます。
注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。
注3. 1端子当たりの定格電流となります。全端子に通電する場合は0.4Aで使用してください。
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。

注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目 図番 SLC-332234-00-00

HRS	製品規格表	製品名	FX18-**P-0.8SV
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL579